【山田町】

校務ＤＸ計画

１　現状

本町では令和２年度から統合型校務支援システムを導入し、全町立学校で運用してきた。

令和７年度からは岩手県クラウド版統合型校務支援システムを導入し、さらなる事務の効率化に努める。

２　「校務ＤＸチェックリスト自己点検結果」における課題等について

町立学校における「ＧＩＧＡスクール構想の下での校務ＤＸチェックリストの自己点検結果（文部科学省　令和６年11月実施）の結果、職員会議のペーパーレス化や作成した教材のクラウド上での共有など一定の成果がみられた。

さらなる校務ＤＸ推進のため特に以下の２点について各学校と連携を図りながら取り組む。

（１）ＦＡＸ・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果から、対象の３校全てでＦＡＸを利用している。また、押印・署名が必要な書類が多くある。校務ＤＸ推進のためＦＡＸや押印等について、制度・慣例の見直しを行うとともに、ＦＡＸの送付や押印を求めている関係団体、事業者を把握し、制度・慣行の見直しを図ることについて検討する。

（２）統合型校務支援システムの一層の活用

本町では令和７年４月から岩手県クラウド版統合型校務支援システム「スクールエンジン」の運用を開始する。システムの機能を十分に活用し、これまで紙媒体で処理していた帳票の電子化について推進していく。

校務支援システムへの各種名簿情報の入力については、これまで同様、軽微な情報の修正を除きＣＳＶファイルの読み込みにより登録し、不必要な手入力作業を行わないようにする。